

みずほCustomer Desk Report 2018/05/09 号 (As of 2018/05/08)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.93
TKY 9:00AM	108.95	1.1934	130.00	1.3567	0.7518
SYD-NY High	109.35	1.1938	130.11	1.3593	0.7527
SYD-NY Low	108.83	1.1838	129.24	1.3485	0.7434
NY 5:00 PM	109.13	1.1864	129.49	1.3549	0.7453
NY DOW	24,360.21	2.89	日本2年債	-0.1300	1.00bp
NASDAQ	7,266.90	1.69	日本10年債	0.0500	1.00bp
S&P	2,671.92	▲ 0.71	米国2年債	2.5115	1.24bp
日経平均	22,508.69	41.53	米国5年債	2.8101	2.21bp
TOPIX	1,779.82	6.64	米国10年債	2.9713	2.06bp
シゴ日経先物	22,460	▲ 15.00	独10年債	0.5585	3.10bp
ロンドンFT	7,565.75	▲ 1.39	英10年債	1.4435	4.50bp
DAX	12,912.21	▲ 35.93	豪10年債	2.7355	▲ 1.50bp
ハンセン指数	30,402.81	408.55	USDJPY 1M Vol	6.70	▲ 0.15%
上海総合	3,161.50	24.85	USDJPY 3M Vol	7.40	▲ 0.07%
NY金	1,314.70	0.60	USDJPY 6M Vol	7.90	▲ 0.04%
WTI	70.08	▲ 0.65	USDJPY 1M 25RR	-0.75	Yen Call Over
CRB指数	202.09	▲ 1.55	EURJPY 3M Vol	7.78	0.13%
ドルインデックス	93.12	0.37	EURJPY 6M Vol	8.20	0.20%

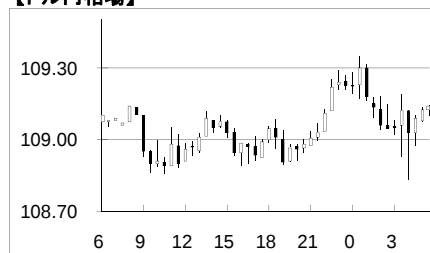
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月8日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	3月 0.0%	0.2%
	-	中 貿易収支(米ドル)	4月 \$28.78b	\$27.75b
	-	中 輸出/輸入(前年比)	4月 12.9%/21.5%	8.0%/16.0%
	15:00	独 鉱工業生産(前月比)	3月 1.0%	0.8%

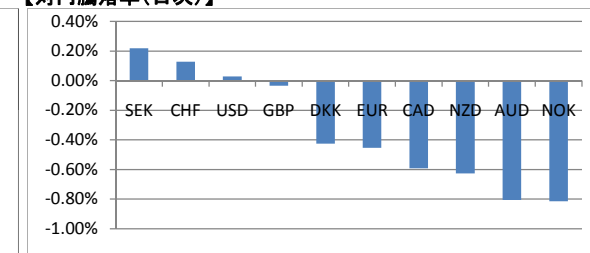
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月9日	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-2.5%
	21:30	米 PPI最終需要(前月/前年比)	4月 0.2%/2.8%	0.3%/3.0%
	23:00	米 卸売在庫(前月比)	3月 0.5%	0.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.80-109.80	1.1800-1.1900	129.00-130.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は109.00を中心としたレンジ推移となった。トランプ米大統領がイラン核合意からの離脱を表明したことが相場の重石となった。本日は堅調推移をメインシナリオと予想。昨日こそ一旦は68ドル台まで下落したWTI原油価格は結局70ドル近辺の高値圏まで値を戻している。原油価格の上昇が、物価上昇に対するサポート材料となって米金利引き上げを順当に行える環境が整っていくとの見立てから、少なくとも短期的には米金利上昇、ドル買い優勢の展開になり易いと考えられる。

東京	オセアニア時間に109円台前半で推移していたドル円は、108.95レベルまで水準を下げて東京時間をスタート。米国がイラン核合意から離脱するとの思惑により引き続き円買いが先行し、一時108.86まで下落するも、日経平均株価が持ち直す中で下げが一服。その後は109円近辺の狭いレンジで揉み合い、108.95レベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.95レベルでオープン。米国のイラン核合意からの離脱懸念で円、スイスフランが堅調に推移する中、対ユーロで強含むドルに対しては小動きとなり、109.01レベルでNYに渡った。1.1926レベルで始まったユーロドルは、最近の欧州経済指標が弱含みECBの金融正常化が遅れることが懸念される中、一時1.1862に低下。1.1872レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3576レベルで始まると、本邦製薬大手が英シャイア買収で合意したとの報道から買われ一時1.3588まで上昇するものの、その後発表された4月の英住宅価格指数が予想よりも下落したことを受け一気に利食われ、結局1.3506レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	米国と中国の特使使節団がジュネーブにあるWTOに集まり、通商政策について激しく衝突すると予想され、またトランプ大統領が米国のイラン核合意離脱を発表すると見込まれる中、海外市場でリスク回避の円買いが強まり、108.86まで下落したドル円は、109.01レベルでNYオープン。朝方は米メディア大手が米国はイランに追加制裁を課すが合意離脱はしないと発表したことを受けドル買い優勢となり、一旦109.35まで上昇したものの、その後米紙大手がトランプ大統領が離脱をマクロン仏大統領に話したと報じたことから反落する。午後はトランプ大統領が正式に2015年に結んだ核合意の離脱を表明したことから円買い戻しが優勢となり、108.83まで下落する。終盤に掛けてはドル買いが持ち込まれたことからドル円は下げ渋り、109.13レベルでクロスした。一方、ユーロドルはリスク回避のユーロ円の売りに連れて上値を切り下げ、昨年末以来に1.1900を割り込み、1.1872レベルでNYオープン。朝方は、ドル買いが優勢となり、1.1838まで下落する。しかしその後は米核合意離脱を巡る報道を受け、ドル売りが優勢となったことから、ユーロドルは1.1886まで戻す。午後はトランプ大統領からの正式な核合意離脱発表を受け、クロス円が下落するなか、ユーロドルは1.1864レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:坂本